

# 中村広美通信 なかむら スタジアム



## 公明党

発行：なかむら広美事務所  
〒558-0023 大阪市住吉区山之内1-4-12-1号館B  
TEL:06-6115-6618 / FAX:06-6696-0877

2020年9月18日～12月21日

### 大阪府議会(定例会・一般質問より)

#### 行政で把握し難い、コロナのいじめ・虐待への対応

- Q. コロナ禍のいじめ・虐待について表面化した事例については、行政で対応して頂いているが、それは全体のごく一部であって把握や対応しきれない事実があると危惧している。知事は、行政でカバーしきれない事案についてどのように対処していくのか。
- A. 先ず周りの大人が気づく事が重要。本人や家族だけで抱え込まず、まず周囲に相談してほしい。子どもや家庭の異変をキャッチした方から地域の見守りと学校等関係機関の連携が重要。引き続き、関係機関の連携強化に全力で取り組む。



#### 自動二輪車の駐車場整備について

- Q. 府内においては、大阪市をはじめ、各自治体や民間において、駐車場の整備に取り組まれているところであるが、依然として二輪ユーザーや関係団体からは、駐車場の数をもっと増やしてほしい旨の要望がある。府としてさらなる検討を進めるべき。
- A. 大阪府として、早速、自動二輪車の駐車場整備について、民間事業者や市町村にヒアリングを行い、駐車場需要など、状況把握を行っていく。



中村府議の質問が、大阪オートバイ事業協同組合発行のゲーバイク12月号で紹介されました。

#### 南海高野線の連続立体交差事業について

住吉区を通過する南海高野線は、国道479号や府道和泉泉南線と踏切で交差しており、自動車交通量が多く、渋滞の原因となっている。(1日あたりの調査によると沢ノ町踏切は、近畿ワースト1位。住吉東4号踏切は、近畿ワースト2位)また、一昨年の北部地震では、長時間踏切が遮断され、避難行動に支障が発生。地域周辺の道路も渋滞し、防災の課題も顕著である。このことから対応には、連続立体交差事業の踏切除却がきわめて有効である。



#### 路面化の空洞調査について 都市住宅常任委員会より



都市住宅常任委員会で質問する中村府議

- Q. 先日、東京都調布市の東京外郭環状道路トンネル工事の真上の道路で陥没が発生した。4年前には博多駅の地下鉄工事で道路陥没が発生するなど近年道路陥没が頻繁に報道されている。路面下の空洞は目視できないことから不安に思う府民が多い。早期発見対策として地中レーダーの導入を以前から訴えてきたところ、府は、11月26日より党調査を実施し、現在も継続していると聞けが、これまでの調査結果・対応について問う。
- A. 重要性の高い路線から実施しており、昨年末までに府が管理する1,500kmの調査が完了し、約800か所の空洞を確認。発見された空洞は、I II IIIランク分けし、最も高いランクIの約90か所は直ちに補修整備。残る箇所についても順次補修。また、新たな技術による一度の車両通行調査で空洞の測定が可能となる新技術の導入も検討していく。

